

島嶼コミュニティ学会

第8回研究大会

- 日時 2018年 11月10日(土) 11～18時
- 場所 東洋大学 白山校舎6号館 2階6218教室

■基調講演(11時10分～)

「小さな離島の産業史と現在」 乾 政秀 氏 (水土舎)

■島嶼産業研究会第7回研究会 (13時15分～)

- 「エネルギー自給実現にむかう地域事例から検討する
～離島地域におけるエネルギートランジションのあり方～」
松村 悠子 (大阪大学経営企画オフィス)
- 「島に対する愛はあるのか？
～有人国境離島支援プロジェクト「国境へ行こう」に関わって想うこと～」
永本 浩司 (合同会社・宿のミカタプロジェクト)
- 「伝統的製塩事業による地域おこしの現段階
～フィジー共和国ロマワイ村を事例に～」
鳥居 享司 (鹿児島大学)

■東アジアコミュニティ比較研究大会東京会場プログラム (15時00分～)

- 「東京都島しょ医療機関からの紹介にて実施された大腸内視鏡検査
～島しょ以外からの症例との比較検討～」
小山 茂 (東京都立広尾病院)
- 「100年前の日本人はどんな昆虫を食べていたのか？」
溝田 浩二 (宮城教育大学)
- 「明治初期キリシタンの信仰と葬儀に対する一考察」
内藤 幹生 (千葉県文書館)
- 「中国伝統武術の集団形成～北京の武術家拝師儀礼を中心に～」
柴田 文洋 (島嶼コミュニティ学会会員)